

# あさがお

花ことは…「固い絆」

■発行  
令和2年9月1日  
■編集  
戸塚第三地区広報部  
■後援  
戸塚第三地区連合町内会  
第三地区社会福祉協議会  
会長 寺尾正彦



## コロナを乗り越えて

戸塚第三地区連合町内会・第三地区社会福祉協議会  
会長 寺尾正彦

こんにちは、第三地区連合町内会長の寺尾です。

今年は、新型コロナウイルスの関係で上期の自治会活動はすべて中止となり、休業状態です。下期の活動についても、10月の健民体育祭、11月の区民祭りも中止が決まっており、残念なかぎりです。

7月に入り遅れていた、第4期ハートプラン（令和3年度～令和7年度）へ向けての作業が始まり、現在第3期ハートプランの振り返りを行なっており、今年度中に4期5年間の計画をまとめ、令和3年度の始めには皆様に配布出来ると思います。

ハートプランとは「戸塚区地域福祉保健計画」の事で「だれでもが安心して心豊かに暮らすことの出来る地域社会の実現」をめざして4つの基本目標をもとに策定されています。

- 目標1. 支えあいと助けあいのあるまち
  - 目標2. みんながふれあう場のあるまち
  - 目標3. 安心、安全、人にやさしいまち
  - 目標4. いつまでも元気で健やかに暮らせるまち
- この4つの目標のもとに、第三地区では「心ふれあうまち 戸塚第三地区」という、スローガンで進めてきました。第4期計画もこの流れの中で進めたいと思っています。
- この記事が出る頃には、コロナ騒ぎが落ち着いて楽しい秋を迎えられていると良いのですが、コロナ問題はすべての人が経験のない事なので、予測がつきません。秋には落ち着き、地域の行事の「竹灯籠の夕べ」「防災拠点訓練」等が行われることを願っています。
- 皆様においては自己管理をして、自己責任において体調管理を行ない、元気に生活して下さい。



# ラムーナ自治会の取り組み

## どうする!?

### コロナ禍の自治会活動 ラムーナ自治会 会長 田中芳広

令和2年度の自治会活動は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出された渦中でのスタートとなりました。ラムーナ自治会におきましても、他の多くの町内会・自治会と同様に、自治会活動の自粛を余儀なくされました。

感染の収束が見通せず、普段と違う生活をいつまで強いられるのかと、誰もが不安に感じる中、自治会として、新型コロナウイルス

感染拡大防止対策を徹底した上で、何か出来ることはないかを真剣に考えました。その中で、特に子どもたちやお年を召した会員家族にストレスが溜まって来ているのではないかと、心配する声が上がってきました。そこで、これらの会員へのメンタルケア活動を企画し、実行しました。

ラムーナ自治会は、今後も“withコロナ”で出来ることにチャレンジし続けてまいります。

#### 子ども応援企画

##### 1. 「ぼくたちわたしたちの新型コロナウイルスの予防対策」をテーマとしたポスターの募集

応募作品はエントランスに掲示して、感染拡大予防対策の徹底を呼びかけました。

応募者には、全員に感謝状と記念品をお贈りしました。



##### 2. お楽しみ上映会の開催 (少人数、複数回開催)

リリースされたばかりの「アナと雪の女王2」のブルーレイを、大画面、大迫力5.1ch サラウンドで鑑賞してもらいました。



#### 健康促進企画

##### 1. ヨガ体験コースの開催 (少人数、複数回開催)

プロのインストラクターをお招きして、初めてのヨガを体験しました。参加者からは、「久しぶりにいい汗がかけた!!」、「スッキリした!!」などの声が上がりました。



##### 2. ラムーナタイムズの発刊

会員の健康増進やより良い暮らしのサポート情報を発信する広報紙「ラムーナタイムズ」を発刊しました。





# 矢部小学校児童の農業体験！

## 地域ボランティアの協力を得て



記事：アザリエ自治会 三国姫子 / 写真：協和町内会 米澤一人

活動日は、毎週水曜日9時から11時半。  
畝作り、田畑の整備や草むしりなど、子どもたちの学習が円滑に行われるよう事前準備を地域の方達の協力を得ながら行います。  
種まきや収穫時には、子どもたちが安全に作業ができるようサポートを行います。  
学年ごとの栽培は、1年生はサツマイモ、2年生・4年生と5組は大根です。3年生は枝豆、5年生は稲作です。  
今年度は新たな試みとして、3年生が観察用キャベツの栽培を行いました。キャベツはアブラナ科の作物のため、幼虫のあおむしが葉を食べてしまうという悲しい結果となりました。



▲ しっかり植えないと！きびし～！！



▲ 雨の中の農業体験！頑張るぞ！



▲ これから皆さんで田植え！



# 『ぷらっと』活動再開

特定非営利活動法人 ぷらっと

7月より活動を再開しました。室内で密を避けることは容易ではありませんが、アイデアを出して工夫しながら、徐々にイベントを充実させていこうと考えています。

7月20日、4ヶ月ぶりに「カフェ・バード」をオープンしました。近くに住むコーヒー通の方がおいしいコーヒーをふるまってくれる月1回の憩いの場です。気楽に入れるので、この日も地元の大学生や、案内を見たり、お友達に誘われたりして来た方が初めて顔を出してくれました。

「新しい生活」では遠出もできません。ぜひ谷矢部池公園の「ぷらっと谷矢部」へ足をお運びください！



▲「カフェ・バード」で美味しいコーヒー！

## 身近な風景にふれてみませんか…？

記事：蔵坪町内会 稲沢 写真：ヨコハマスタジオ

今年の夏は遠出を控えたり各行事の縮小等で楽しみが減っていることと思います。

こんな時こそ、身近に目を向けてみてはいかがですか？

普段、通り過ぎている“矢部蔵坪公園”に足を止めて、ちょっと息抜きしてみてください。小さな発見があるかもしれませんね…。



▲蔵坪公園に咲く花



▲公園からの景色



▲公園入り口



▲公園の遊具施設



# 矢部小学校、鳥が丘小学校の児童見守り活動

広報部会

町内会・自治会・子ども会・PTAなど多くの団体、有志の方たちによって小学校に通う子どもたちの見守り活動が行われています。



▲ 矢部小学校の児童を見守る様子



▲ 鳥が丘小学校の通学路点検の様子

保健活動  
部会

## BCチェッカーで健康づくり

保健活動部会

保健活動部会は横浜市長より委嘱を受けた保健活動推進員22名で健康づくりのための活動を行っています。

今回第三地区より追加予算をいただき、BCチェッカー（血管年齢測定器）を購入することができました。高額な機器ですので使用頻度を高めたいと考えております。

つきましては各町内会及び自治会、各部会においての定例会の活動等におもむき健康づくりのための健康機器での測定を考えております。



指を置ただけで血管年齢を測定!

利用したい方は、米澤 (TEL. 045-866-2436) までご連絡下さい。

防犯  
部会

## サギに注意

まだまだ無くならないサギ被害!

防犯部会

戸塚犯罪・事故ニュース (7月20日～7月26日)

【架空請求詐欺に注意!!】

メールやインターネット等で、ありもしない請求をして金銭を騙し取る“架空請求詐欺”が急増しています。最近の手口としては、「有料サイトの料金が未納です」や、「パソコンがウイルスに感染している」等と警告画面を出して不安を煽り、電話で問い合わせをさせた上で、ウイルス対策のための電子マネーカードを購入させたり、料金を口座に振り込ませるといった事案が発生しています。

<特殊詐欺発生状況(令和2年7月27日現在)>

神奈川県 1,051件 (被害金額 約17億9,317万円)  
戸塚区 36件 (被害金額 約5,778万円)

<交通人身事故状況> (7月20日～7月26日)

人身事故 8件 (令和2年累計 289件)  
負傷者 9名 (令和2年累計 338名)  
交通死亡事故 0名 (令和2年累計 0名)



## こんな時だからこそ ～学校でしかできない学びを大切に～

鳥が丘小学校 校長 松崎 由里子



7月の終わり、いつもならとうに夏休みに入っている今頃になって、ようやく校庭でミンミンゼミが元気よく鳴き始めました。なかなか明けない梅雨・例年と違うのは、学校だけではない

ような気がして、寂しさを感じています。

鳥が丘小学校では、6月からようやく分散登校を開始しました。クラスをAB二つに分け、午前と午後で同じ授業を行います。せっかく同じクラスになった子ども同士、つながる方法を担任が子どもと一緒に考えました。黒板にメッセージを残したり、iPadで動画を撮影して見合ったり…。それぞれの工夫が光りました。そして6月15日からの一斉登校。子どもたちは、教室の人の多さに驚きながらも、たくさんの友達から刺

激を受けて、学ぶことができるようになりました。

7月からは給食も始まりました。直前までマスク、全員前向きでおしゃべり禁止、食べ終わったらすぐマスクという形ですが、それでも、調理員さんが一生懸命作ってくださる給食はおいしくて、子どもたちは嬉しそうでした。午後の授業ができるようになり、5・6年生による委員会活動がスタート。人の役に立つことがとても嬉しいようで、委員会の仕事に生き生きと取り組んでいます。

9月には6年生の日光修学旅行、10月には5年生の富士五湖体験学習、11月には運動会（半日開催）と4年生の上郷体験学習を計画しています。感染症対策を講じながらの様々な制約の中ではありますが、一方で、学校でしかできない学びを大切にしながら、教育活動を進めていきたいと考えています。

学援隊の方に分散登校の時には午前午後見守りをさせていただくなど、地域のみなさまに大変お世話になっております。こんな時だからこそつながりを強める方法を模索したいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 元気は出すもの

矢部小学校 校長 石川 妃美子



「元気は出るのではなく、  
出すものです。」

これは、校長室の日めくりカレンダーにある言葉です。今は、何を見聞きしてもコロナの話でもちきりです。聞

くたび、見るたびにため息が出て、下を向きがちになることが多いような気がします。

学校でも、できる限りの工夫をしながら、子どもたちや保護者の皆さまの安心につながるようと考えています。



図工室はシートを張って対面できるようにしました

児童下校後は消毒作業をしています



学校の諸行事等は、時期を変えたり、実施の仕方を変更したりするなど、見直しを行っています。今後の状況を見ながら、さらに見直しが必要になってくることも考えられます。

なかなか判断の難しい局面ばかりですが、子どもたちの笑顔と、保護者や地域の皆さまの温かなお支えをいただきながら、「元気を出して」引き続き職員一同で頑張っていきたいと思えます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



## コロナウィルスとの戦い

戸塚中学校 校長 塚原 和良



2月、横浜港にダイヤモンドプリンセス号が接岸したとき、何やら一抹の不安を感じました。卒業期を控えた3月、感染拡大防止の観点から横浜市では臨時休業となり、卒業式が卒業生

と教職員のみで行われる異例の事態となりました。4月、入学式も同様の扱いとなり、中旬より学校再開と思われた矢先、非常事態宣言が発令され、結果6月1日からの学校再開となりました。

この状況の中、本校では分散登校から始まり、順次、条件付きにはなりますが、授業や部活が再開し、三密を作らない環境の工夫を行い、マスクの着用・換気の徹底・消毒作業の励行等々、横浜市教育委員会から発出された「ガイドライン」に沿って教育活動がスタートしました。

しかし、行事関係は中止や延期にせざる得ない状況が続き、今後の予定にも不安を残しています。

このような状況ではありますが、本校の生徒たちは意気軒昂いげんこうであり、活発な活動が始まっています。一日も早く元の状態に戻れるよう、本校ではできることをしっかり取り組んでいこうと考えています。夏休みも短縮となり、地域のお祭りやボランティア活動に参加できないことは誠に残念ではありますが、近いうちにまた地域活動に中学生が参加させていただけますよう戸塚中は頑張ります。

## 学校が再開しました

領家中学校 校長 内山 裕二



6月1日(月)に、ようやく学校が再開されました。ご家庭の方々には、これまで子どもたちの健康観察や家庭での学習にご協力いただき、誠にありがとうございました。これほど長くなるとは思っていなかった休校期間も3か月にもおよび、リズムが戻るか心配でした。最初の2週間は、間隔をあげるためクラスを2つに分け、午前登校、午後登校としました。授業時間を短くして学校生活に慣れることを第一に考えました。15日(月)からはクラスが一つになって授業を受け、昼食も始まりました。ここから学級づくりが始まりました。

7月1日(水)からは、平常授業となり部活動も始まりました。やっと学校も放課後まで子どもたちの声や吹奏楽の楽器の音があふれるようになりました。ただ、平常と違うのは、学校再開後から毎日続く消毒作業で、教職員全員で生徒が帰った後の教室の机、椅子をはじめスイッチや取っ手など多くの生徒が触った場所をアルコールで拭き取ります。暑い中マスクをしての授業や部活動の指導、放課後の作業により、教職員の体力を奪っているのも事実ですが、それでも毎日笑顔で子どもたちと一緒に活動しています。本当に子どもたちのことを思う素晴らしい教職員集団であると実感しています。

領家中学校の行事は、次のように変更しました。

### 【主なもの】

- 1年生遠足⇒3月までのどこかで1日で実施
- 体育祭⇒10月8日
- 2年生自然教室⇒10月19日～10月21日
- 合唱コンクール⇒3月9日
- 3年生修学旅行⇒10月23日～10月25日
- 卒業式⇒3月11日



おめでとうございます

第三地区連合町内会  
戸塚区長より感謝状



▲感謝状を持つ寺尾会長

戸塚区長より、一年間（令和2年3月22日時点）無火災を実現した戸塚第三地区連合町内会の出火防止活動及び地域の安全と安心のための一致協力した活動に対して感謝状が贈られました。

上矢部ふれあいの樹林愛護会  
国土交通大臣表彰を受賞

上矢部ふれあいの樹林愛護会 中島 茂

上矢部町にある「上矢部ふれあいの樹林」が自主的に維持管理する市民団体として功績をたたえる国土交通大臣表彰を受賞しました。皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

樹林は1.4ヘクタールあり落葉樹、常緑樹、竹林と広場があり樹齢300年を越すコブシの大木がシンボルとして親しまれています。

今年はコロナの影響もあり人込みを避け5月から6月にかけてアジサイ散策に沢山の方々が訪れ森林を楽しまれました。まだ訪れていない方も是非共樹林内の散策を楽しんで頂きたいです。また愛護会会員募集も行っていますので合わせてお願いいたします。



▲2020年8月16日 感謝状を受け取る同会の会長 田崎氏

お知らせ

戸塚第三地区連合町内会  
年内の4行事を中止！

- 9月 秋祭り（各町内会・自治会）
- 10月 健民祭
- 11月 戸塚ふれあい  
区民まつり
- 11月 写真展

2020年予定の、上記4行事を残念ですが中止といたします。  
1日も早い新型コロナウイルス 感染の収束を心より願っております。



表紙の写真は秋の公園で撮られたスナップ写真です。

姉妹の写真でしょうか、秋の景色がとても似合う笑顔が、私たちにも笑顔を分けてくれているようです。

いつも素敵なスナップ写真を撮りたいと思っている私に、何をどう撮ればいいのかを教えてくれているような気がしてきます。

新型コロナウイルス感染防止の行動をもう一度しっかりやろうと心に刻んで…。

広報部会長 相澤 元治



▲広報部員・編集会議を終えて